	かい かいりょう かいりょう かいしょう はいしょう はいしょう かいしょう かいしょう かいしょう はいしょう しんしょう しんしょう しんしょう はいしょう はい	∮門学校	開講年度 令和05年度 (2	2023年度)	受業科目 3	環境倫理・マネージメント		
科日基	礎情報		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, , ,				
科目番号		7412		科目区分	専門/選択	1		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	,			
開設学科		創造工	学専攻(建設環境工学コース 23年度以前入学者)	対象学年	専2			
開設期		前期		週時間数	2			
教科書/	 数材	1337 13	ne Vesilind Alastair S. Gunn (社)日本	/ 11-3201				
担当教員		多川正	, , , ,		1, %%C111	1人(1) 日の1間空(70日)/, 日1170 フライ		
到達目	-	J / II II						
		四旦[二七/1十		 ≠Z				
		回題にのり	る技術自の負務について考えることがで	<u>දනං</u>				
ルーノ	<u>゙リック</u>		理想的な到達レベルの目安	煙進的か到達しべまの	標準的な到達レベルの目安 未到達レベルの目安			
			ライフサイクルアセスメントにつ					
評価項目	≣1		いて、シナリオを設定し、説明が できる。	ライフサイクルアセス いて理解している。	(メントにつ	ライフサイクルアセスメントにつ いて説明できない。		
評価項目	≣2		人間行動が環境に与える影響、未 来世代に与える影響について自分 の考えが説明できる。	環境倫理を説明できる		環境倫理を説明できない。		
評価項目	≣3		事例研究を通じて,グループディスカッションを進行させ,自分以外の考えを聴き,自分の考えをまとめ,発表・議論することができ,課題解決にむけての提案がとりまとめることができる。	事例研究を通じて、行スカッションを進行で外の考えを聴き、自分とめ、発表・議論する。	か考えをま	事例研究を通じて,グループディスカッションを進行させ,自分以外の考えを聴き,自分の考えをまとめることができない。		
学科の	到達目標	項目との	関係					
	数育目標 A-1							
教育方	 法等							
概要		一行うちん	科目は企業で実務を担当していた教員が のである。 環境・地域環境問題における技術者の責	•		する具体的事例を演習形式で授業を		
授業の過	₤め方・方法	事例も	容の理解を深めるために,プリントを配 しくは仮想事例を用い,技術者として環 テロ・自己の考えをブレゼンテーション。	境にどのように関わっ゙	こいけばよいた	Nについて. グループディスカッシ -		
		習時間	こ相当する予習・復習・課題を毎回出題	する機会を設ける。槙(する。	図的な授業, 請	義論への参画を希望します。自学自		
		習時間は特になり		する機会を設ける。積化 する。	巡旳な授業, 請	義論への参画を希望します。自学自 		
注意点	属性・履	特になり	J	9 る機会を設ける。槙(する。	巡的な授業,請	議論への参画を希望します。自学自 		
^{注意点} 授業の)属性・履 ⁽ ティブラー:	特になり	J	9 る機会を設ける。 積4 する。	図的な授業, 請	議論への参画を希望します。自学自 図 実務経験のある教員による授業		
注意点 授業の ☑ アク	ティブラーニ	特になり)		図的な授業,請			
注意点 授業の ☑ アク	ティブラーニ	特になり修上の区グ	〕 □ ICT 利用	□ 遠隔授業対応				
注意点 授業の ☑ アク	ティブラーニ	特になり	□ ICT 利用 □ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	図的な授業,請			
注意点 授業の ☑ アク	ティブラーニ	特になり修上の区グ	〕 □ ICT 利用	□ 遠隔授業対応				
注意点 授業の ☑ アク	ティブラーニ	特になり 修上の区分 ニング	□ ICT 利用 □ ICT 利用	□ 遠隔授業対応 週ご 環境 がで	との到達目標 問題において きる。	□ 実務経験のある教員による授業		
注意点 授業の 図 アク	ティブラーニ	特になり 修上の区グ ニング 週 1週	し	□ 遠隔授業対応 週ご 環境 がで 環境	との到達目標 問題において きる。 倫理の基本 3/ た歴史をふま	☑ 実務経験のある教員による授業倫理が問われる理由を説明すること京則について、考え方について制定え説明できる。		
注意点 授業の 図 アク	ティブラーニ	特になり 修上の区分 ニング 週 1週 2週	□ ICT 利用 □ ICT 利用 □ が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	□ 遠隔授業対応 週ご 環境 がで 環境 きれ 事例 ・	との到達目標 問題において きる。 倫理の基本 3 が た歴史を通じて が自分以外の 表することが	☑ 実務経験のある教員による授業倫理が問われる理由を説明すること京則について,考え方について制定え説明できる。グループディスカッションを進行考えを聴き,自分の考えをまとめできる。		
注意点 授業の 図 アク	ティブラーニ	特になり 修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週	□ ICT 利用 授業内容	□ 遠隔授業対応 週ご 環境 がで 環境れ 事のせ ・発	との到達目標問題において何います。 問題の基本 3 がた歴史を通じかのまた歴究を通じかのがでいるができます。 まするこでであることであることであることであることであることであることである。	☑ 実務経験のある教員による授業 倫理が問われる理由を説明すること 京則について、考え方について制定 え説明できる。 グループディスカッションを進行 ぎできる。 グループディスカッションを進行 できる。 グループディスカッションを進行 それる聴き、自分の考えをまとめ できる。		
注意点 授業の 図 アク	ティブラー <u>:</u> -画	特になり 修上の区グ ニング 週 1週 2週 3週 4週	□ ICT 利用 授業内容 ガイダンス,成績評価 環境問題の特徴と倫理 環境倫理の基本 3 原則 事例にみる環境倫理の考え方(1)	□ 遠隔授業対応 週ご 環境で 環れ 事で すれ りさ アラウン アラウン アラウン アラウン アラウン アラウン アラウン アラウン	との到達目標 問題において きる。 倫理の基本3月 た歴史を通じなご 研究自するを分とこのが まするを別とこのが でのが でのが でのが でのが でのが でのが でのが でのが でのが で	□ 実務経験のある教員による授業 ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・		
注意点 授業の 図 アク	ティブラー <u>:</u> -画	特になり 修上の区グ ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週	□ ICT 利用 授業内容 ガイダンス,成績評価 環境問題の特徴と倫理 環境倫理の基本 3 原則 事例にみる環境倫理の考え方(1) 事例にみる環境倫理の考え方(2)	□ 遠隔授業対応 週で現ができる。 環境で現れ 例せ発	との到達目標 問きる。 神た 研,表	☑ 実務経験のある教員による授業 ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・ニュー・		
注意点 授業の アク 受業計	ティブラー <u>:</u> -画	特になり 修上の区グ コル コル コル コル コル コル コル コル コル コル	回 ICT 利用 授業内容 ガイダンス,成績評価 環境問題の特徴と倫理 環境倫理の基本 3 原則 事例にみる環境倫理の考え方(1) 事例にみる環境倫理の考え方(2) 事例にみる環境倫理の考え方(3)	□ 遠隔授業対応 週ご 環境で 環さ 明さ , 事さ , 事さ , 卵せ発 例せ発 例せ発 例せ発 例せ発 例せ発 例せ発 例せ 発 例せ 発 例	と 問き 倫た 研 , 表 研 , 和 , 和 , 和 , 和 , 和 , 和 , 和 , 和 , 和 ,	☑ 実務経験のある教員による授業 論理が問われる理由を説明すること 京則について、考え方について制定 説明できる。 ・考えをまとめ できる。 ・グループディスカッションを進行 できる。 ・グルを聴き、自分の考えをまとめ できる。 ・グルを聴き、自分の考えをまとめ できる。 ・グルを聴き、自分の考えをまとめ できる。 ・グスカッションを進行 できる。 ・グスカッションを進行 できる。 ・グスをまとめ できる。 ・グスを聴き、自分の考えをまとめ できる。 ・グループディスカッションを進行 きえをある。 ・グループディスカッションを進行 きえをまき、自分の考えをまとめ		
注意点 授業の アク 受業計	ティブラー <u>:</u> -画	特になり 修上の区グ こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 7週	回 ICT 利用 授業内容 ガイダンス,成績評価 環境問題の特徴と倫理 環境倫理の基本 3 原則 事例にみる環境倫理の考え方(1) 事例にみる環境倫理の考え方(2) 事例にみる環境倫理の考え方(3)	□ 遠隔授業対応 週 環が環さ事さ,事さ,事さ,事さ,事さ,事さ,の世発例せ発例せ発例せ発例せ発例せ発例せ発例せ発例せ発例を発例を発例を発例を発例を発例を発例を発例を発例を発例を発例を発例を発例を発	と 問き 倫た 研,表	図 実務経験のある教員による授業 論理が問われる理由を説明すること 原則について、考え方について制定 え説明できる。 グルーできる。 グルーでき、自分の考えをまとめできる。 グスを聴ってスカッションを進行 考できる。 グスを聴うができる。 グスを聴うができる。 グスをある。		
注意点 授業の アク 受業計	ティブラー <u>:</u> 一画	特になり 修上の区グ こング 週 1 週 2 週 3 週 4 週 5 週 6 週 7 週 8 月 8	回 ICT 利用 授業内容 ガイダンス,成績評価 環境問題の特徴と倫理 環境倫理の基本 3 原則 事例にみる環境倫理の考え方(1) 事例にみる環境倫理の考え方(2) 事例にみる環境倫理の考え方(3) 環境と科学技術者の倫理(1) 環境と科学技術者の倫理(2)	□ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 環が環さ事さ、事さ、事さ、事さ、事さ、事さ、事さ、事さ、事さ、事さ、事さ、の世発例せ発例せ発例せ発例せ発例せ発例を発例を発例を発例を発例を発例を発例を発例を発	と 問き 倫た 研 ,表 研 ,	□ 実務経験のある教員による授業 □ 実務経験のある教員による授業 □ 実務経験のある教員による授業 □ 京門について、考え方について制定 □ 京門についる。 □ ボーンを進行を表さる。 □ ボーンを進行を表さる。 □ ボーンを表さらめできまとめできまとがです。 プディスカッションを進行をきまらがしたできらい。 プディスカッションを進行である。 プディスカッションを進行である。 プディカの考えをまとめである。 プディスカッションを進行できる。 プディスカッションを進行できる。 プディスカッションを進行できる。 プディスカッションを進行できる。 ブディスカッションを進行できる。 ブディスカッションを進行できる。 ブディスカッションを進行できる。 ブディスカッションを進行できる。 ブディスカッションを進行できる。 ブスとができずィスカッションを進行できる。 ブルマミューをきる。 ブラディスカッションを進行できる。 ブラディスカッションを進行できる。 ブラディスカッションを進行できる。 ブラディスカッションを進行できる。 ブラディスカッションを進行できる。 ブラディスカッションを進行できる。 ブラディスカッションを進行できる。 ブラディスカッションを進行できる。 アラマア・ロースカッションを進行できる。 アラマア・ロースカッションを通行できる。 アラマア・ロースカッションを進行できる。 アラマア・ロースカッションを進行できる。 アラマア・ロースカッションを通行できる。 アラマア・ロースカッションを通知できる。 アラマア・ロースカッションを通知できる。 アラマア・ロースカッションを通知できる。 アラマア・ロースカッションを通知できる。 アラマア・ロースカッションを通知できる。 アラマア・ロースカッションを通知できる。 アラマア・ロースカッションを通知できる。 アラマア・ロースカッションを通知できる。 アラマア・ロースカッションを通知できる。 アラマア・ロースカッションを表示する。 アラマア・ファン・ア・ファン・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア		
注意点 授業の アク 受業計	ティブラー <u>:</u> -画	特になり 修上の区グ 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	回 ICT 利用 授業内容 ガイダンス,成績評価 環境問題の特徴と倫理 環境倫理の基本3原則 事例にみる環境倫理の考え方(1) 事例にみる環境倫理の考え方(2) 事例にみる環境倫理の考え方(3) 環境と科学技術者の倫理(1) 環境と科学技術者の倫理(2) 事例調査と議論(1)	□ 遠隔授業対応 週 環が 環さ 事さ , 事	と 問き 倫た 研,表	図 実務経験のある教員による授業 □ 実務経験のある教員による授業 □ 実務経験のある教員による授業 □ 京記明できることを表示について制定を表示について制定できる。		

									1 +	
	14週		循環型社会、LCA			LCAおよびISO14000の目的と考え方, および実施方 法について説明することができる。				
			廃棄物処理に関する環境倫理			高レベル放射性廃棄物の処分方法について, 内容を理解し, 課題について自分の意見を説明することができる。				
			課題し	ノポート作成			授業を通して学習した事例に関する課題について、 答説明できる。			夏について、解
	1	.6週	課題し	ノポート解説						
モデルコス	アカリキュ		学習	内容と到達	目標					
分類 分野				学習内容の到達目標				到達レベ	ル 授業週	
基礎的能力				技術者倫理 (知的財産、 法持続可能 法持続さい で技術史	現代社会の具体的な 関連させ、技術者 説明できる。	は諸問題を題材に、 命理観に基づいて、	こ、自ら専門とする工学分野にて、取るべきふさわしい行動を		5	前2,前3,前 7,前8
					社会における技術者	5技術者の役割と責任を説明できる。			5	前2,前3,前 7,前8
					環境問題の現状についての基本的な事項について把握し、科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響を説明できる。			5	前2,前3	
		技術者	倫理		環境問題を考慮して、技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。			5	前2,前3	
	工学基礎	(知的)	は産、 i守、		国際社会における技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。			5	前3	
		持続可を含むび技術	およ(順守(コンプライア	ンス)の重要性につ			5	前3,前4,前 5,前6
			3,7,11,3,2		技術者を目指す者として、諸外国の文化・慣習などを尊重し、それぞれの国や地域に適用される関係法令を守ることの重要性を把握している。			5	前3,前4,前 5,前6	
					全ての人々が将来にわたって安心して暮らせる持続可能な開発を実現するために、自らの専門分野から配慮すべきことが何かを説明できる。			5	前3,前4,前 5,前6	
					技術者を目指す者と 資源の維持、災害の くことの重要性を認	D防止などの課題(築、異文化理解の推 こ力を合わせて取り	進、自然 組んでい	5	前3,前4,前 5,前6
専門的能力				野 環境	地球規模の環境問題を説明できる。			5	前2,前3,前 9,前10	
					環境と人の健康との関わりを説明できる。			5	前3,前9,前 10	
	分野別の専	^算 建設系	公邸		過去に生じた公害の歴史とその内容(環境要因と疾病の関係)について、説明できる。			5	前3,前4,前 5,前6	
	門工学	医以外	ジンチェ		廃棄物の発生源と現状について、説明できる。			5	前7,前9,前 10,前12	
					リスクアセスメントを説明できる。			5	前11,前 12,前13,前 14	
					ライフサイクルアセスメントを説明できる。			5	前13,前14	
評価割合										
課題レポート			発	表,議論					É	計
総合評価割合		30		0	0	0	0	1	.00	
評価項目1~		30		0	0	0	0	1	.00	